

三重県真珠振興計画(案)の概要

第1 真珠産業や真珠に係る宝飾文化の振興の意義及び基本的な方向に関する事項

- 本県における真珠産業及び真珠に係る宝飾文化の振興について、今後10年を見通した長期的な視点から計画を策定します。
- 真珠の生産、加工、流通及び輸出の各段階における施策を定めます。
- 施策の推進にあたっては、産学官、また真珠産業連携強化協議会(全国協議会)、三重県真珠振興協議会とも連携を図ります。

第2 真珠の需要の長期見通しに即した生産目標に関する事項

現状値 (2014年)	目標値 (2027年)
生産額: 25億円	生産額: 37億円

本計画においては、国が定めている今後の真珠の需要見通し等により見込まれる真珠生産額の増加率と同等の増加率を達成することをめざし、計画に基づき講ぜられる施策の効果もふまえ、2027年の生産目標値を定めました。



第3 真珠産業の振興のための施策に関する事項

* 計画について、県内ののべ134名の養殖業者、加工・流通業者等と意見交換しました。

1 生産者の経営の安定

(1) 真珠生産基盤の整備等

真珠・真珠母貝養殖業者が行う経営改善、生産コスト削減及び労働効率の改善に資する生産基盤の整備や漁業収入安定対策並びに資金の融通等を推進します。

(2) 災害による損失の合理的な補償

生産金額の減少による損失等を補償する漁業共済への加入等を推進します。

2 生産性及び品質向上の促進

真珠及び真珠母貝の歩留り・品質向上の実証、日本固有のアカヤガイの安定生産に資する取組を推進します。また、技術情報の交換を進め、真珠母貝等の特性に応じた生産手法や知識の共有のための取組を推進します。



3 漁場の調査等

真珠生産のリスク要因となる有害赤潮等による被害防止を図るため、予察技術の高度化を進め、迅速な情報提供を推進します。

4 漁場の維持又は改善

健全な真珠養殖漁場を維持するため、ヘドロの浚渫や藻場造成等の取組を推進します。



5 加工及び流通の高度化

本県で生産及び加工される真珠について、国内外において、その高い品質に係る認知度を高めるよう取り組みます。また、全国的な連携のもとで、品質表示に係る共通基準の策定並びに産地・生産加工履歴等の情報の収集及び整備、浜揚げ入札会の効率的かつ効果的な運営を促進します。

6 輸出の促進

真珠の輸出拡大を図るため、オールジャパン体制で国が推進する国際的な真珠集積地及び輸出拠点としての機能強化に向けた施策(真珠産業及び真珠に係る宝飾文化に関する情報の発信等)に協力します。

7 研究開発の推進等

本県の真珠産業の未来を見据え、国、事業者、大学等との連携による研究開発を推進し、真珠の生産性及び品質の向上等を図ります。また、真珠養殖産地間の連携による技術情報の共有を促進します。



8 人材の育成及び確保

挿核技術などの重要技術や知見が地域で伝承されるよう、人材育成を図ります。特に、本県の真珠生産の特徴である厘珠の生産技術が伝承されるよう取組を進めます。また、地域内における後継者や作業従事者の育成・確保及び他地域からの新規着業の促進に努めます。

第4 真珠に係る宝飾文化の振興のための施策に関する事項

真珠が国民生活に浸透していることや心豊かな生活の実現に重要であるとの認識を深めるため、真珠に係る宝飾文化の一つである冠婚葬祭や真珠婚式、東京オリ・パラ等公式な式典等における真珠の利用促進に努めます。

また、ブランド価値の高い日本産真珠の、優れた生産・加工技術について、国内外への情報発信の機能強化に努めます。

第5 真珠の需要増進のための施策に関する事項

真珠の需要増進のため、真珠産業の各団体が連携して行うPR活動や品評会等の開催、三重ブランド等を活用したブランド力の強化のための取組を促進します。

また、真珠生産地域への国内外からの誘客拡大等に向けた異業種(観光業界等)との連携等を促進します。



三重県特産の厘珠



伊勢志摩サミットで使われたラベルピン

* 計画の事項及び施策については、国の基本方針に即して定めています。